

## 社会と関わりあい、人の役に立ちたいと思う心

俳優 辰巳琢郎 さん

小学2年生から中学3年生まで、大阪第81団で活動していました。残念ながら引越したため続けられませんでした。ハットにあこがれてたので、カブからボーイに上がって初めて被ったときは嬉しかったですね。みんなそれぞれハットの型のつけ方にこだわりがあって、僕は正面にへこみを作るイギリス式でした。今でも乗馬でテングロンハットなどを被ると、スカウト時代を思い出します。やっぱりボーイスカウトはハットがカッコいいと思うなあ。

カブの頃、緑の羽根の募金活動で初めて「人前で大きな声を出す」ということを経験しました。勇気がいりましたけど、思えばそれが家族や学校を離れた世の中との関わりあいの始まりだったかもしれません。いい経験をさせていただきました。

ボーイスカウトで一番身についたことはやはり「そなえよつねに」の精神です。「もし何かあったら」などと考えて、普段のロケでもつつい荷物が多くなってしまいます(笑)。水も必ず1~2リットルくらい持ち歩いています。実際に役立つのは今のところホテルの冷蔵庫が空っぽだったというような場面ですが、やはり何かが起こったときに常に備えておかななくちゃと思います。重いんですけどね。

それともう一つは自然に「人の役に立ちたい」と思える心でしょうか。地域振興の活動などにお声がけをいただいてお手伝いする機会がよくあるんですが、そうしたお仕事のとき「たいしたことはできないけど、少しでも役に立てたらいいな」と嬉しく思うんですね。

制服を着ると、ずっと背筋が伸びて胸を張れるような気分になったものです。社会と関わりあって、人の役に立って、胸を張って生きていけるよう、今年もがんばっていきましょう！

おしらせ

辰巳さんは今年、NHK大河ドラマ『篤姫』に堀田正睦役で出演。登場は5月頃の予定とのこと。どうぞ楽しみに。



## スカウトは誠実であれ

俳優 金田賢一 さん

安心してやんちゃができる場所で、ルールを守り、自分のノルマを果たすことを学んでほしいという母の思いから、小学3年生の時に東京第138団(現渋谷第5団)カブ隊に入隊し、今日までずっとスカウト活動を続けています。仕事の都合で何年も活動に出られなかったりもしましたが、もちつきなどの行事にポツと顔を出すと、まるで昨日別れたばかりの仲間と会った感じがするんです。

ボーイスカウトというのは、不思議な場所。いろんな人がいて、異業種交流会のようです。同窓会でも異業種の人と会えますが、ボーイスカウトは幼稚園児から80歳以上の方まで、広い幅の年齢層で、横にも縦にも幅広い。損得関係ない、同じ釜の飯を食べた仲間。学校でも、職場でもない、もう一つの場所。そんな場所を持っていると心の余裕になると思うんです。

現在ローパー隊長をしていますが、若者の稼働不足が悩みの種です。いつもスカウトには「『忙しい』という前に10秒考える」と話しています。誰もが平等に1日24時間しか与えられていません。人生も1回きりです。その限られた時間をどうやってうまく使っていくのか、やりくりして時間を作る面白さを感じてほしい。たとえば「キャンプは？」と聞くと「行けません」と返事がくる。でも、キャンプ場に行けなくても、献立やプログラムの一部を考えたりすることで「参加する」ことはできるのです。

また、現在は「個人」を大事にし過ぎです。団体責任というのも必要なこと。騎士道にある「One for all, All for one」の精神で、自分に誠実に、人に誠実に生きる。それによって得られる人との絆が大切なのです。

今年も「誠実であること」を常に意識しながら、スカウト活動を楽しみましょう！



## 人との関わりあい楽しい、タレント 宮川大輔さん

僕は小学校に上がるときに病気をして、激しい運動ができず、引っ込み思案な子どもだったんです。自身もボーイスカウトをやっていた父のすすめで、「心身を鍛えよう」と京都第18団でカブスカウトから活動を始めました。いろんなことをやりましたが、やっぱりボーイに上がってからが俄然面白かったですね。火を扱うのが好きで、いつもキャンプのカマドは僕が守っていました。大人と離れて、夜のテントで皆を笑わせるのも楽しかったですね。人前でのスタンツは苦手だったんですけど、内輪の盛り上げには当時から自信がありましたよ。

思い出深いのは、南蔵王での第9回日本ジャンボリーで、皆で森を開拓して自分たちのサイトを作ったことですね。僕らの自慢のサイトになんと皇太子殿下※が来られて、僕らと握手してくださったんです。そのときはもう、僕のスカウト人生で最高に力の入った敬礼を「パシーッ!」とやりましたよ。 ※現在の天皇陛下

ボーイスカウトをやっていてよかったなと思うのは、いろんな人との関わりあいを学んだということですね。新入隊員を早く班に馴染ませる気の配り方とか、ちょっといばった先輩のいなし方とか(笑)。仕事でいろんな人たちとチームになってテレビ番組や舞台や映画を作りますが、初顔合わせからチームの輪を作っていくのがとてもすんなりできるし、それが楽しくて、嬉しいですね。最近はテレビで皆さんが僕のことを知って、興味を持ってくださるので、ますます馴染みやすくなってきました。町で小学生とかにも「宮川大輔だ!」なんて声をかけられますけど、ホント素直に嬉しいですよ。

今ピーバーやカブで活動しているスカウトたちには「ボーイになったらびっくりするくらい面白いから、活動がんばって続けてね!」とメッセージを送りたいですね。

今年もよろしくお願いします!

おしらせ

数多くのバラエティ番組で活躍中の宮川さん。5月公開予定の映画『隠し砦の三悪人』には準主役級で出演。お楽しみに。また、DVD『大輔宮川のすべらない話』が1月16日(水)発売されます。

